

日本耐火物協會主催耐火物講習會御案内

耐火物講習會

1. 主催 日本耐火物協會
2. 後援 耐火物に關係深き學會・協會・工業新聞
3. 目的 高熱窯爐築造用耐火物の知識を普及徹底せしめ其の製造及び使用技術の向上に資す
4. 期日 昭和 16 年 10 月 1 日・2 日・3 日・4 日……講習 10 月 5 日……工場見學
5. 場所 東京市(丸の内方面)
6. 定員 150~200 名限り
7. 資料展覽 各製造會社の製品及び型録を展示・配布す
8. テキスト 各講師より講義概要の提出を受け、之を各々約 20 頁のテキストを前刷し、當日配布す
9. 講習録 此のテキストは講習終了後、各講師より若干の追補修正を加へ全部を纏めて一冊の單行本として刊行發賣す
10. 聴講料 金 5 圓(1 名宛)とし、各テキストは實費(約 20 錢)を徴收す
11. 修了證書 所定の講習を皆出席聴講したるものには希望に應じて講習修了證書を交附す
12. 講習内容 (午前 9~12 時)(午後 1~4 時)

第 1 日 午前

- (1) 本邦耐火物工業の趨勢
日本耐火物協會理事長 黒田 泰造氏
- (2) 耐火物原料各論
(a) 珪石質及び粘土質原料
早稻田大學助教授工博 秋山 桂一氏
午後
(b) 高礬土質・苦土質及び其他の原料
東京帝國大學教授工博 永井 彰一郎氏
- (3) 珪石質耐火物の製造技術と使用上の諸問題
黒崎窯業株式會社専務取締役 高良 淳氏

第 2 日 午前

- (4) シヤモット質耐火物の製造技術と使用上の諸問題
東洋耐火煉瓦株式會社取締役 浮洲 武彦氏
- (5) 鐵石質耐火物の製造技術と使用上の諸問題
九州耐火煉瓦株式會社社長 河合 幸三氏
午後
(6) 高礬土質耐火物の製造技術と使用上の諸問題
大阪窯業耐火煉瓦株式會社工場長 青木 熊雄氏
- (7) マグネシヤタロム質耐火物の製造技術と使用上の諸問題
品川白煉瓦株式會社取締役 藤田 新三郎氏

第 3 日 午前

- (8) 製鋼用異型耐火物の製造技術と使用上の諸問題
川崎窯業株式會社技師 若林 滋氏
- (9) 硝子熔融坩堝の製造技術と使用上の諸問題
大阪工業試験所(第三部)技師 綿谷 政次郎氏

13. 工場見學 第 5 日(午前・午後)京濱間の二、三の工場見學交渉中

- (10) 電氣熔融耐火物の製造技術と使用上の諸問題

旭硝子株式會社試験所技師理博 吉木 文平氏

午後

- (11) 斷熱材の製造技術と使用上の諸問題
東京工業大學講師 河島 千尋氏
- (12) 特殊耐火物の製造技術と使用上の諸問題
東京芝浦電氣株式會社マツダ支社工博 不破 橋三氏
- (13) 耐火セメントモルタル
東京帝國大學教授工博 永井 彰一郎氏

第 4 日 午前

- (14) 耐火物試験法各論
(イ) ゼーゲル錐と耐火度
東京工業試験所第三部長 伊藤 亮氏
(ロ) 物理的性質
日鐵八幡製鐵所中央試験所技師理博 田所 芳秋氏
(ハ) 化學的性質
早稻田大學助教授工博 秋山 桂一氏

午後

- (15) 耐火物研究法各論
(i) X 線試験
東京工業大學助教授工博 山内 俊吉氏
(ii) 顯微鏡試験
京都高等工藝學校教授工博 青武 雄氏
(iii) 物理化學的試験
東京工業大學助教授工博 山内 俊吉氏
(題名及び講師には幾分の變更があるかも知れぬ)

日本耐火物協會

東京市京橋區銀座西四丁目五番地ノ六號
銀座商館四階